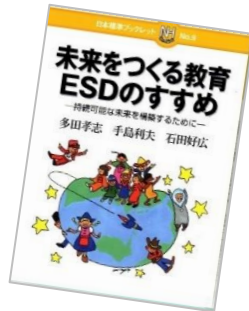
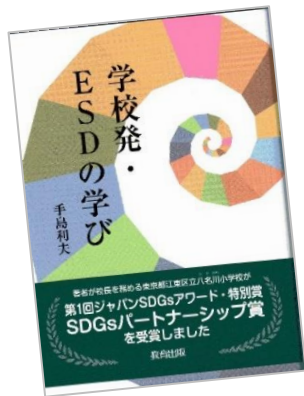


- 〇〇地区教育委員会連合会・
- 〇〇地区教育長協議会 合同研修会

「大きく変える！日本の教育」



「ESD, SDGsを推進する手島利夫の研究室」室長
江東区立八名川小学校 前校長
日本持続発展教育推進フォーラム理事
日本ESD学会副会長 手島利夫
メール：contact@esdtejima.com

URL：<https://www.esd-tejima.com/>

携帯：090-9399-0891

皆様方とこのように出会えること、〇〇の子どもたちの幸せに、結びつけたいです。

今日の話は、新聞でもテレビでも報道されていません。記者さんが理解できなかったからです。でも、今日はわかりやすくお伝えします。よろしくお願いします。

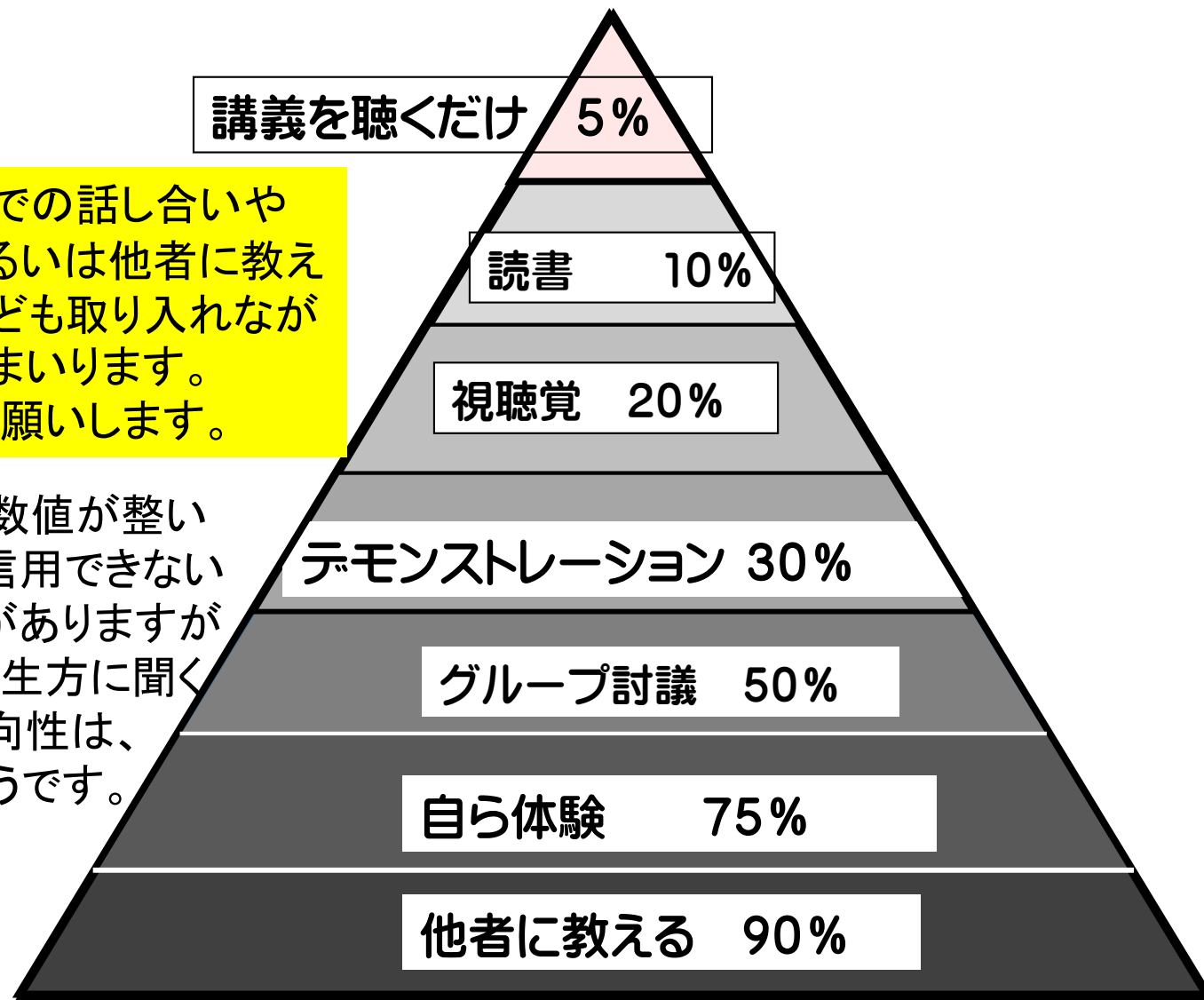
さて、今日の研修会は

「皆様の考え方や問題意識を大切にしながら」

進めたいと思います。

工夫してまいりますので、ご協力をお願いします。

ラーニングピラミッド



講義を聴くだけ 5%

読書 10%

視聴覚 20%

デモンストレーション 30%

グループ討議 50%

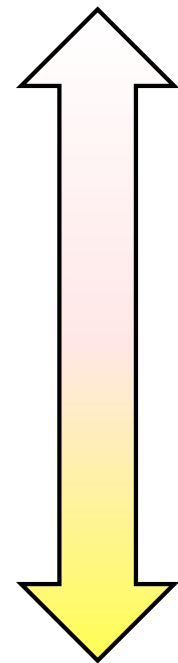
自ら体験 75%

他者に教える 90%

グループでの話し合いや
討議、あるいは他者に教える
体験なども取り入れながら
進めてまいります。
よろしくお願いします。

データの数値が整い
すぎて、信用できない
という話がありますが
現場の先生方に聞くと
この方向性は、
確かなようです。

学んでも頭に
残りにくい



学んだことが
頭から離れに
くい

ところで、最近では

社会が大きく変化したことって 例えばどんなことがあるかな？

私たちが生きてきた
時代

その結果
としての

昔



今



未来

戦後の焦土の中から、
様々な課題を乗り越えて
より良い社会を目指して
みんなで頑張ってきた。

より良い未来を創るには、
今がどんな時代なのか、どんな課題があるのか、どのよう
に立ち向かうのかが重要。



情報が世界を瞬時に駆け巡り、世界を変える

- **どんな知識も瞬時に取り出せる魔法の機械ですね**
- **コンピュータと連動して、株価も瞬時に変動**
- **アラブの春・・・エジプト政府は1週間で・・・**

- **個人の情報も知らないうちに・・・**
- **「イスラム国」という仮想国が世界を脅かす**
- **カショギ氏の問題でも、サウジアラビアの言い分が
どんどん変わらざるを得なくなって・・・**



9. 11 ニューヨークのビルに
ジェット機が突っ込んだ悲劇から
イラク戦争が始まったのも
忘れられませんね。



あのあたりから・・・
紛争・難民問題も深刻になり、

国内にも広がる
子どもの貧困

あれから5年

3・11

2016年3月1日(火) - 10日(日)

【会場】弁護士会館 1階エントランスホール
〒100-0013 東京都千代田区麹町1丁目1番3号
【主催】東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会
【企画協力】3・11 東日本大震災写真展実行委員会
【開催協力】株式会社 タムロン
【問合せ】東京弁護士会広報課 TEL 03-3581-2251

東日本大震災写真展

入場無料



東京弁護士会サイト写真展ポスターより

いやいや、もう7年以上...



BIGLOBEニュースより 福島第一発電所航空写真



東海各地で39度超す 名古屋39.5や多治見39.9度

猛暑中部 2018/8/3 13:33 日本経済新聞

岐阜県下呂市で8月6日午後、
観測史上歴代2位タイとなる41.0度を観測

日本経済新聞 2018/8/6



巨大台風が発生

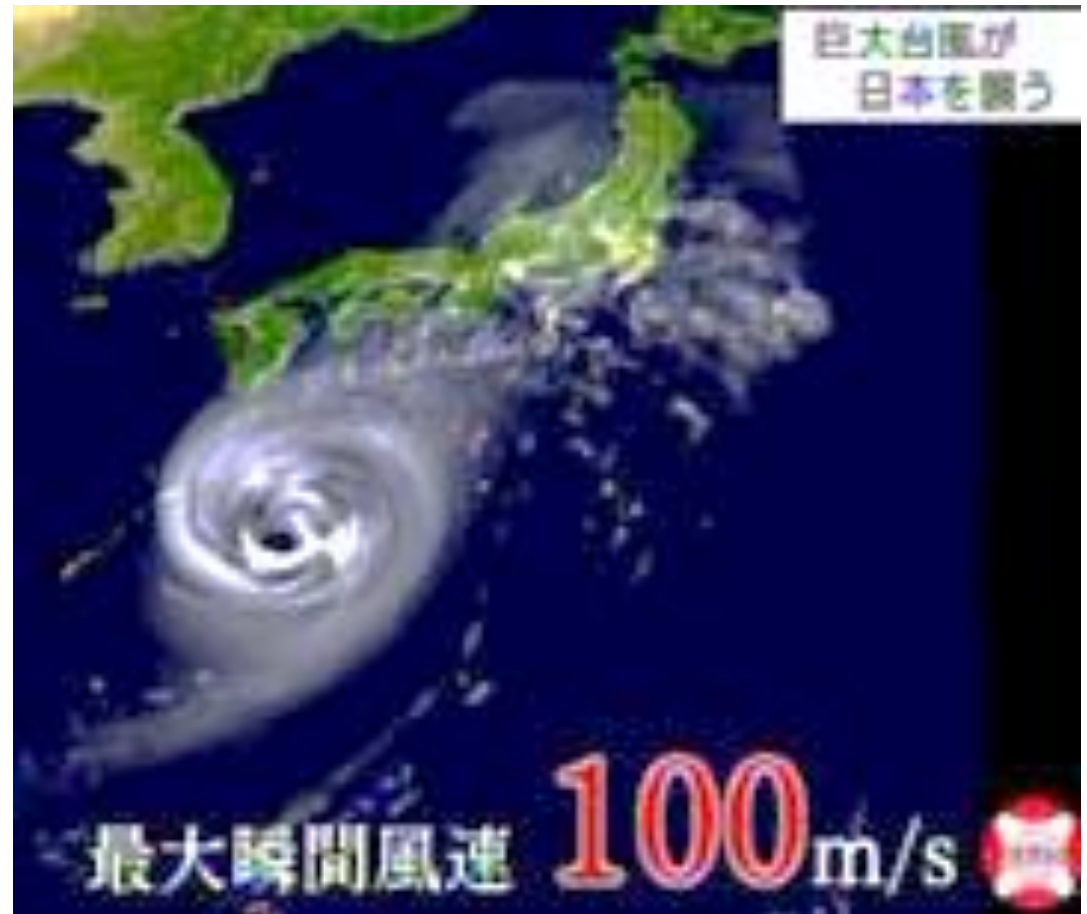
(NHKクローズアップ現代2013年11月18日フィリピン巨大台風の衝撃)

中心気圧は900ヘクトパスカルを下回り、
最大瞬間風速は100メートルを超えます。

その勢力を保ったまま、台風は関東に直撃する可能性が指摘されています。

この時、最も恐れられているのが、東京湾で発生する高潮だそうです。

東京に住んでいる人は、あまり、意識がないですけど・・・



皆さんが思い出された様々な変化の

中から、

世界を持続不可能にしそうな事柄も、

出てきましたね。

深刻な課題のある社会ですね。つまり・・・

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

— これが私たちの社会の現実 —

- 1, 情報機器の発達により、がつながり、
- 2, 私たちの世界は大き<している。
- 3, この世界をさせることは、できない。
- 4, そして、まだまだ変化はそうさ。
- 5, 変化は、加速度的になりそうさ。
- 6, 社会の危うくなっている。
- 7, だけではうまくやっていけない。

子どもたちを取り巻く**世界は**グローバル化・
情報化が進む中、**激しく変化**しております。

世界の条件が変われば、物ごとの**正解も**
どんどん**変わります**。

そして、そのような時代に**求められる人間像も**
大きく変わってきています。

中学校の、小学校の

教育だけが変わらずにいられる
わけがありません。

では、**日本の教育**を変えらるとしたら、

どのように変えていく

必要があるのでしょうか。

皆さんは、次の**視点**から

中央教育審議会の委員になつたつもりで
カードに提言用のメモを書いてください。

(相談なしで、やりましょう。3分間でなるべくたくさん！)

(1枚のカードには一つの提言を、横書きで！)

学校教育をどのように変えたいか

- 目標、目的、実現したい世界
- 育てたい資質や能力、人間性等
- 教育方法（教え方、学び方）
- 重視したい要素、配慮すべきこと

（その他の視点からでもいいですよ。）

次は、仲間と協力して、
カードを項目ごとに読み合い、
構成してみましよう。

同じ事・似ていることを書いて
いたら重ねてもいいです。
関連があるものは、線でつなぐ
とか工夫して、すっきりと
構造的にまとめましよう。

自分たちの班の考え方を説明できるようにしましょう。

説明係を1人決めてください。
その人は、回ってくる人たちに
何回か説明をしてもらいます。

後の人は、他班の説明を聞き
に、学びの旅に出ます。

次は
フリーマーケットスタイルで
新しい時代に向けて有効そうな
改革案を探します。

気に入った部分には、シールを
傍に貼ってあげましょう。
つまり、「いいね」マークです。

今の活動は、指導要領を読み解くための意識や視点づくりだったのです。視点や問題意識を持たずに資料を読むと、意味がわかりにくいのです。

新しい学習指導要領では どのように言っているでしょう

2020年から本格実施される学習指導要領の前文等を読んでみましょう。

この中で、今までにない、重要なことも言っています。

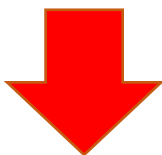
皆さんが考え・提案したキーワードが、どのように活かされているでしょうか。

探して、下線を引きましょう。○で囲みながら探してもいいですよ。

個人の成長

10年前の学習指導要領

児童の人間として調和のとれた
育成を目指し…(個性を生かす)



個人の成長

新しい学習指導要領(前文)

社会人としての役割

自分のよさや可能性を認識する

とともに、

豊かな人生を切り拓き、

あらゆる他者を価値のある存在として
尊重し、多様な人々と協議しながら
様々な社会的変化を乗り越え、
持続可能な社会の創り手となる

ことができるようにすることが求められる

この考え方は、ESDそのものです

(資料の15ページで確認しましょう。)

学習指導要領では具体的には

知識や技能だけでなく

ポーッと生きてんじゃねえよ!

(厳しい時代をたくましく)

「生きる力」を育む

1、課題解決に必要な

- ・思考力
- ・判断力
- ・表現力

・主体的に学習に取り組む態度

・多様な人々との協働 コミュニケーション能力

2、豊かな心や創造性(道徳)

3、健康で安全な生活と

豊かなスポーツライフ (17ページ)

それには、学んだ知識を活用し、

① 教科横断的に学ぶ (18~19ページ)

(カリキュラム・マネジメント)

だけでなく

② 主体的・対話的で深い学び

(問題解決的な学び) (22ページ)

カリキュラム・マネジメント するということは、

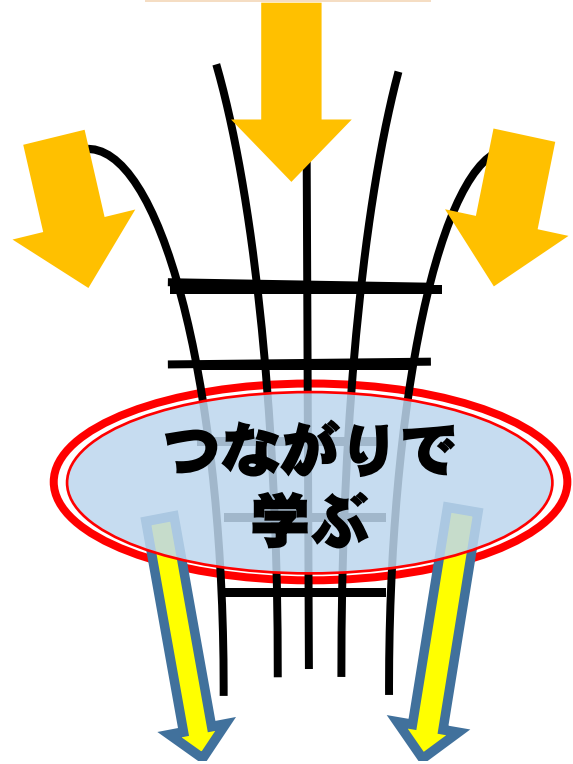
従来、教科・領域ごとに
指導してきた内容を

特別活動
特別の教科道徳
外国語

各教科

生活科

総合的な学習の時間



深い学び

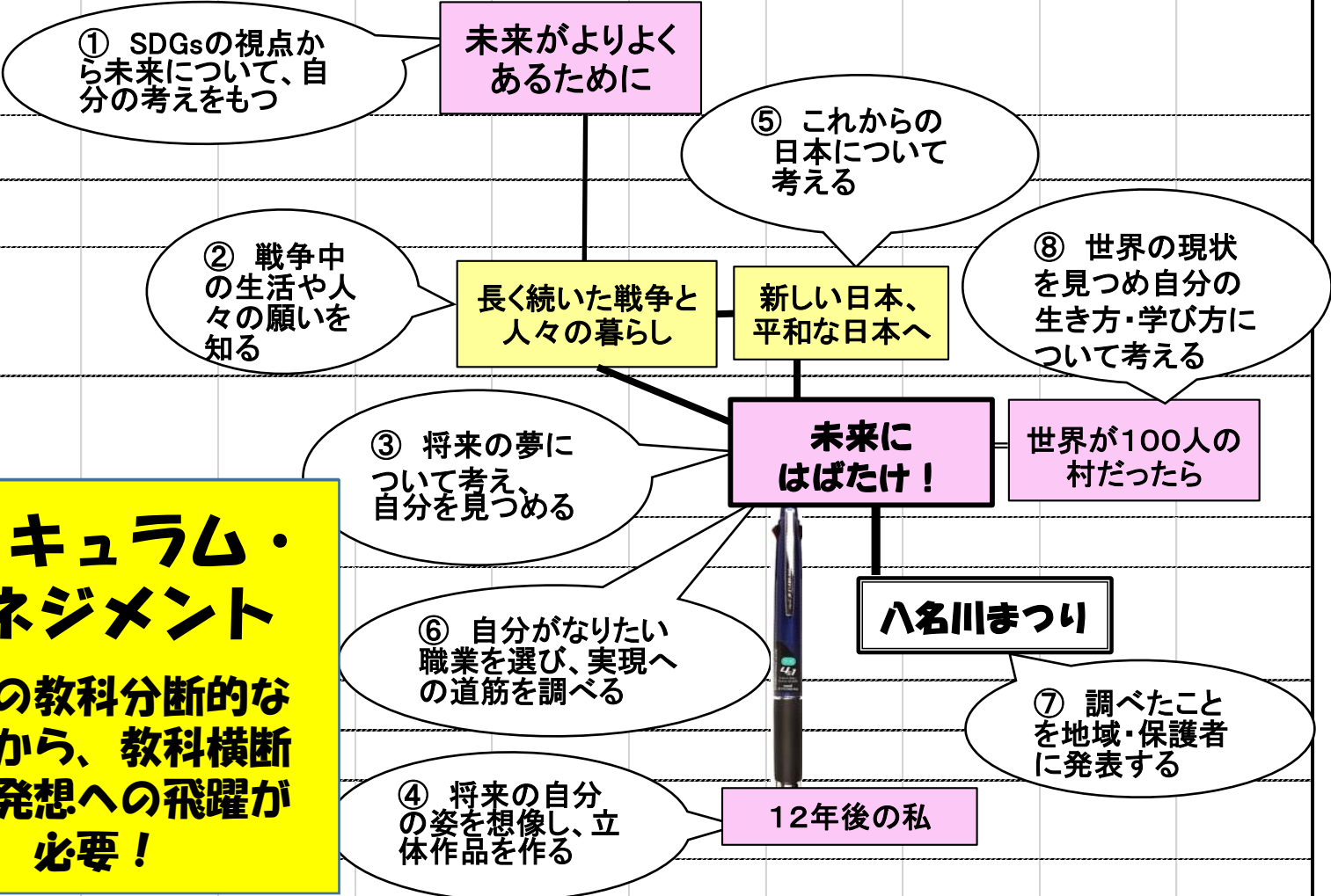
を創ること

第6学年「未来にはばたけ」学習カレンダー

江東区立八名川小学校

教科領域	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語										
算数										
理科										
社会										
総合										
英語										
特別活動										
道徳										
音楽										
図画工作										
体育										
家庭科										

カリキュラム・マネジメント
 従来の教科分断的な発想から、教科横断的な発想への飛躍が必要！



- 環境の教育
- 多文化理解
- 人権・命の教育
- 学習スキル



環境の教育

国際的な協力

環境の問題は自分たちだけが取り組んでもだめです。国際的な協力のシステムが必要です。

国際的な協力のためには、お互いの国の文化や生き方を尊重できなくては、協力なんてできません。

持続可能な世界のための4つの視点

(教科領域の学びをつなぐ4つの視点)

人が人として生きていくには環境が重要です。この4つの視点は、相互に関連し合っているのです。

いろいろな国の文化や生き方を知る土台には、人間として尊重し合う信頼関係が大切です。

人権・命の教育

多文化の理解

これは、ESDカレンダーといって、教科横断的な学習指導のイメージマップなんですよ。

第6学年 ESDカレンダー		28年度版										江東区立八名川小学校		
教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
国語				ようこそ私たちの町			未来がよりよくあるために			自然に学ぶ暮らし				
算数	俳句づくり													
理科							資料の調べ方							
社会					江戸の文化をつくりあげた人々		私たちの願いを実現する政治	長く続いた戦争と人々の暮らし		日本とつながりの深い国々		世界の未来と日本の役割		
総合		江戸・深川のまちを語ろう							未来にはばたけ!		世界が100人の村だったら			
英語														
特活										八名川まつり				
道徳					古きよき心					同じ地球の子どもたち	ホワイトハウスにできた柔道場	世界が100人の村だったら		
音楽														
図工										12年後の私				
体育			病原体と体の抵抗力				喫煙・飲酒・薬物							
家庭							日常の食事と調理の基礎					これからの自分		
			環境の教育			国際理解や協力			人権・命の教育		学習スキル			

ESDカレンダーと、この具体的な指導計画がセットになっていることが重要です。

江東区立八名川小学校

総合的な学習の時間 第6学年 指導計画

五

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

単元名「江戸・深川のまちを語ろう」(35時間)

【ねらい】

自分が生まれ育った地域の歴史や文化に目を向け、地域に対する誇りや愛着心を育てる。

【学びに火をつける】

○視聴覚教材や手島校長先生の話きっかけに、自分が生まれ育った地域の歴史や文化に目を向け、「自分たちも様々な切り口からこの町の歴史や文化を語れるようになろう」という課題を明確にする。

【調べる】

○「長屋の生活」「江戸の文化」「船宿」「江戸の大火事」等の自分の興味をもったテーマを調べ・発表の準備をする。

【まとめる】

○テーマごとに(同じテーマの児童はグループになり)、プレゼンテーションを考えて作り、友達に発表し課題や工夫についてアドバイスをもらい、練り直す。

【つたえ合う】

○調べたことを、深川江戸資料館で、5年生や家族・地域の方、深川小学校の児童にポスターセッションで等で発表する。

【地域人材・関係機関】

- 深川江戸資料館(見学と事前指導の来校及び、発表会場の提供)
- 八名川地域、森下地域の人材、ESD支援センター

単元名「はばたけ未来へ！」(35時間)

【ねらい】

将来自分たちが生きる社会は、時代とともに変化していくことに気づき、そのような社会で生き抜くためにどのような力を身に付ける必要があるか、様々な情報から自分にあったものを考え続けることで、困難に立ち向かう態度を育てる。

【学びに火をつける】

○保護者アンケートから未来の職業の変化を知る。ゲストティーチャーの話から将来の夢を見つめ、実現するために何をどのようにするのか考えさせる。

【調べる】

○多種の職業の方から各職業について説明をもらい、自分の夢と照らし合わせ、自分はどのような力を身に付ける必要があるか考える。

【まとめる】

○自分が必要と考える力を身に付ける取り組みを一定期間行い、友達と意見交換を行うことで成果や課題をまとめる。

【つたえ合う】

○調べたことを、八名川まつりでポスターセッションで等で発表する。

【地域人材・関係機関】

- 保護者(アンケート)
- 多種の職業の方々(保護者・知人等)

平成26年10月8日 参議院予算委員会にて(NHK国会中継画面より)



持続可能な開発のための教育を視野に、ESDカレンダーの活用をしてはいかがか。



(公明党荒木参議院議員)

江東区立八名川小学校の取り組みについては承知している。
ESDカレンダーは、ユネスコ
スクールだけでなく全国の学校
教育に広めていきたい。

これが、カリキュラム・マネジメントにつながっているのです。

◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた **授業改善** を通して、生きる力を育むことを目指す。

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得 と **活用**
- ・思考力・判断力・表現力等の育成
- ・主体的学習態度や多様な人々との協働
- ・豊かな心や創造性の涵養

などが、どうしても自然に身についてくるの。

詰め込み教育をすると主体性も、豊かな心も育ちにくい。

別々にやろうとしても時間ばかりかかる！

だから

ESDカレンダーを工夫して、
その中で学習をつなげカリキュラム・マネジメントすること。

問題解決的な学習過程を重視
して、その中に、対話的な協働場面を位置づけること。

主体的・対話的な学習過程

【学びに火をつける】



【調べる】



【まとめる・実行する】



【伝え合う】

単元全体に関わる大きな問題意識を共有することが重要。目標に向けて、教師の仕掛ける能力が成否を分ける。下に示した「火をつける3つのステップ」を意識して指導する。

「計画する→調べる」というステップ。予想を立て、何時間で、どんな方法で、だれに聞いて、どこに行き、どうやって調べるか、どのようにまとめ、それを誰に伝えるかなど

ポートフォリオ等を活用しながら、効率よくまとめる。発表練習では、助言カード等を活用する。友達と練習の交流をさせることで、説得力のある結論が導き出せる。

〇〇報告会、八名川まつり(ESD学習まつり)など、子どもたちが、学年や学校・地域を越えて発表したり、行動したりする場を設定する。自ら考えたことを進んで実行させる。

1. 出会う

- ①体験活動や資料をもとに基本的な事実と出会い、共有する
- ②多様な気づきや感想を共有する

2. 気付く

- ①教師が提示したり、子どもが調べたりして合った矛盾する事実や意表をつく話や資料等から疑問を感じ、書き出す

3. 問題意識をもつ

- ①グループや学級全体で疑問を出し合い、分類・整理して学習問題化する
- ②問題について予想をする

学びのコーディネーターとして指導計画をデザインし、地域にある素材を生かし、主体的に対話的な学びづくりをします。それができないと、教師としてやっていけな時代になりました。先生方、がんばりましょう！



『こどもの学びに火をつける』際の3つのステップ

①

<問題に気づかせる>

- 1) 体験活動や提示資料をもとに**基本的な事実と出会う**
- 2) 体験したり資料を見たりしたことから、多様な気づきや感想などをもち、それを**共有する**

②

<火をつける>

- 3) 教師が提示したり、子どもが調べたりして出合った**矛盾する事実や意表をつく話や資料等**から**疑問を感じ、書き出す**

③

<テーマを決める>

- 4) グループや学級全体で**疑問を出し合い、分類・整理してまとめ、学習問題をつくる**
- 5) 問題について、自分**なりの予想をする**

単元のねらい 世界の現実を踏まえた教育を考えると学習指導要領の「生きる力」の教育につながっていることに体験的に気付かせ、教育改革に取り組む意欲を高める。

【 SDGsの 4番「質の高い教育をみんなに」に対応 】

①

②

③

「問題に気づかせる」段階
どんな事実とどのように
出会わせるのか

社会の変化についてグループで話し合い、「ゆっくりと変わる社会から激変社会へ、正解のあった時代から正解も変わる時代へと変わっている。」というプレゼンを見て、今までの教育観や教育方法ではやっていけないことに気づく。

「火をつける」段階
どんな意表をつく話題や、矛盾する事実をぶつけるのか

「今までの学校教育で通用するのですか。だめだとしたらどのような教育に変えるつもりですか」と投げかけ、改革案のキーワードを書かせ、グループごとにカードを模造紙上に構成しながら、どんな教育施策が重要かまとめる。

「テーマを決める」段階
どんな学習問題を作らせたいのか

教育改革案や、そのキーワードをワールドカフェ方式で交流し、
「実際の日本の教育はESDの方向に進もうとしているのだろうか、学習指導要領等から読み取ろう」という問題意識をもち、研修にのめりこむ。

全校で **ESD** (持続可能な開発のための教育)

や な が わ

に取り組む **八名川小学校**

5年生はCO₂削減!

教育課程に位置づけて
教科横断的に

行政・企業・地域・家庭と連携し
主体的な学びとして実践し

世界に向けても発信!! (この内容は省略します)



私たちは今、
どう世界に生きているのだろう。

そして、どう世界を
生きていくのでしょうか???

江東区立八名川小学校 5年



本校の発信と、姉妹校(グリーンスクール)の連携で
インドネシア政府も、**ESDカレンダー**をもとに
ESDの推進をすることに！

第7回八名川まつり発表内容

平成31年2月27日(土)の午前にどうぞ。発表内容は、子どもたちが決めますので変わっていると思いますが、お楽しみに！午後は、第6回ESDパワーアップ交流会

15 陸の豊かさも
守ろう



1年 秋のおもちやの店

ドングリやまつぼっくりで楽しもう



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



2年 うごくおもちゃ大しゅう合

ゴムで、風で、坂道で…いっしょにあそぼ！



11 住み続けられる
まちづくりを



3年 八名川タイムトラベル

町の史跡や道具を調べて語ります。



3 すべての人に
健康と福祉を



4年 やさしさパワーアップ大作戦

妊婦さん・外国人・お年寄り…



11 住み続けられる
まちづくりを



5年 今やろう！

地震から身を守る備えを！

保護者や地域の方と備えを語る



8 働きがいの
経済成長も



6年 未来にはばたけ！

～小学校卒業研究～

キャリアの視点から将来設計と学び方を語る



◆子どもたちが生きていく時代を踏まえた社会的な課題

何を学ぶか

目標 4 質の高い教育を全ての人に



E S D

主体的・問題解決的な学び（学びに火をつける指導）
教科横断的・統合的な学び（ESDカレンダーの活用）
対話的・協働的な学びの重視（対話型授業の設定）

環境

目標 2
飢餓をゼロにする

2年 食べ物から見える世界、
5年 これからの食料生産とわたしたち、

目標 7
エネルギーをみんなに
クリーンに

2年 ちこくちこく、わたしのおもちゃ
5年 カーボンマイナス子どもアクション

目標 11
安全で災害に強い
まちづくり

2年 地域安全マップをつくらう
5年 今やろう、地震への備え

目標 13
気候変動対策

5年 カーボンマイナス子どもアクション、
百年後のふるさと、
地球温暖化・森が消えていく

目標 14
海の豊かさ

5年 日本の水産業、岩井薩海学校
(遠泳・地引を綱・プランクトン)

目標 6
安全な上下水の
保障

4年 水を守れアースレンジャー

目標 9
産業と技術革新
の基盤づくり

5年 エコプロダクツ展参加
5年 環境の視点で工業を見直そう

目標 12
持続可能な生産
と消費

4年 ごみと私たちのくらし
5年 これからの食料生産とわたしたち

目標 15
陸の豊かさ

1年 生き物となかよし、
楽しさいっぱい歌いっぱい、
2年 サリガコの赤ちゃん
おいしく育て、わたしの野菜
3年 やご救出大作戦
全学年 俳句づくり

人権

目標 1
貧困をなくす

2年 食べ物から見える世界、
5年 これからの食料生産とわたしたち、

目標 3
健康と福祉

4年 やさしさパワーアップ大作戦(早いバスケット、介
護体験等)、
大きくなってきた私(2分の1・成人式)

目標 5
ジェンダー平等の実現

2年 あしたへジャンプ
4年 心の信号機、手と心で読む、

目標 8
経済成長と人間らしい仕事

6年 未来へ羽ばたけ(キャリア教育の視点から)

目標 16
平和で公正な社会と行政

6年 私たちの願いを実現する政治、
世界を知り私たちにできることを発信しよう、

多文化理解(国際理解)

目標 10
人や国家間の平等

2年 とくどきわくわく町探検、
町のひみつを知らせたい
3年 音の暮らしたんけんたい、
4年 さがそう深川未来遺産
6年 江戸・深川の町を巡ろう

※ 人であれ国家であれ、平等なつきあいを進
めるためには、相互理解が基礎となる。
多様な文化理解が異文化への寛容や、平等な
人間関係の基礎である。

目標 17
世界の協力とパート
ナーシップ

2年 あしたへジャンプ、
4年 田舎生との楽しい時間
6年 世界を知り、できることを発信しよう
全校体制で取り組む、国内外への発
信や交流

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

《SDGs》

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



最近、SDGsのロゴを目にするようになりました。そのこと自体は悪いことではないのですが、ばらばらに、部分的な取り組みを、コンクールや競争的に進めても、ダメなのです。

ESDで世界を変えるための17の具体的目標



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

↔ 環境
↔ 人権
↔ 文化

ちょっと取り組んで達成できるような甘いものは一つもありません。そこには、深い理解や学びを通じた、本気で考える人づくりが欠かせないのです。全国の学校でやらないとだめです。

A校におけるESD導入後の学力状況の変化(算数)



Bの《活用能力》を 15%、18% 向上させるって、とても大変なことですよ。

さて、レジュメにある最後の話題です。

学習指導要領にESDの理念が明記され、その重要性や、実践の具体例についてお示ししました。

それが皆さんの市や町の教育で推進されるにはたくさんの壁があります。

どこに、どんな壁があるでしょう。どこをどう改善したら、教育改革が始まるのでしょうか。

学校内の壁

- ① 教師・・・自分が教え込みの学びで育ってきた。
今までの授業に問題意識がない。
きちんと教えるのが教師だと思っている
- ② 校長・・・学習指導要領のどこが変わったか、理解できていない。
自校の学力向上と大過なく過ごすのが大事だと思っている。
自分はある教科・領域の専門家だと思っている。
教育委員会の指導がないと動かない。

教育(子供の姿)を変えていくための力関係

⑤ 議会における議員の発言・質問

質問の手引きを
公開しています



④ 教育委員会の「教育振興基本計画」
学習指導要領改訂の理念を踏まえているか
教育理念と具体的施策との不一致は無いか



③ 校長の教育観・指導力



② 教師の指導観・指導力



① 子どもの姿

教育委員会を変えるために、議員さんに教えていること 「ESD議会質問マニュアル」

- ① 教育振興基本計画に「持続可能な社会の創り手の育成」等を掲げているか。それとも明治以来の「知・徳・体」で済ませているか。
- ② 目標や基本方針に「生きる力」「生き抜く力」を掲げているか、それとも「学力向上」至上主義か。
- ③ 施策に向けて「確かな学力」を掲げているとしても、それが「基礎学力の向上」を意味しているのか、思考力・判断力・表現力等の育成の意味で書かれた施策になっているのか。
- ④ 指導観・指導法の改善・工夫として「主体的・対話的で深い学び」つまり問題解決的で協働的な学習を目指しているか。それともベテラン教員を活用した「教え込み技術」の伝承や「少人数指導」で基礎・基本の徹底を目指しているのか。

「議員用ESD議会質問マニュアル」

- ⑤ カリキュラムマネジメントとして「ESDカレンダー」の作成か
もしくはそれ以上の教科等横断的な指導計画を明示しているか。
- ⑥ 各学校の「教育課程」に上記のことがどれだけ記述されているか、そして、年度末の学校評価でどれだけ検討・改善が進んでいるか。
- ⑦ これらのことを校長・教頭あるいは教務主任等に対してどの程度の指導をしたのか。
(文書資料があるなら示してもらおう)
- ⑧ その成果として、全校の子どもたちの主体的・対話的に学び合う姿がどのような場で、どのようにみられるのか。
また、実践を踏まえた発表・発信の場が確保できているのか。

今日の研修会は、皆さんが主体性をもって
教育の課題の取り組んで、各市町村の教育行政を
新しい時代のものに変えていくための主体的・対話的な
学習過程を意識して組み立てられております。
この単元展開表をご覧ください。
今日の研修は、どこまで進みましたか、この先
皆さんはどうしていくのでしょうか。ご覧ください。

単元のねらい 世界の現実を踏まえた教育を考えると学習指導要領の「生きる力」の教育につながっていることに体験的に気付かせ、教育改革に取り組む意欲を高める。

【 SDGsの 4番「質の高い教育をみんなに」に対応 】

①

②

③

「問題に気づかせる」段階
どんな事実とどのように
出会わせるのか

社会の変化についてグループで話し合い、「ゆっくりと変わる社会から激変社会へ、正解のあった時代から正解も変わる時代へと変わっている。」というプレゼンを見て、今までの教育観や教育方法ではやっていけないことに気づく。

「火をつける」段階
どんな意表をつく話題や、矛盾する事実をぶつけるのか

「今までの学校教育で通用するのですか。だめだとしたらどのような教育に変えるつもりですか」と投げかけ、改革案のキーワードを書かせ、グループごとにカードを模造紙上に構成しながら、どんな教育施策が重要かまとめる。

「テーマを決める」段階
どんな学習問題を作らせたいのか

教育改革案や、そのキーワードをワールドカフェ方式で交流し、**「実際の日本の教育はESDの方向に進もうとしているのだろうか、学習指導要領等から読み取ろう」という問題意識をもち、研修にのめりこむ。**

教育改革に関する 主体的・対話的な 学習過程

【学びに火をつける】



【調べる】



【まとめる・実行する】



【伝え合う】

世界の現実を踏まえて教育を考えさせ、学習指導要領の「生きる力」の教育の重要性に体験的に気付かせ、教育改革に取り組む意欲を高める。

自分たちの市町の教育振興基本計画の現状を見直し、学習指導要領の改訂を踏まえた教育改革の推進計画をつくる。管理職研修の在り方や指導内容、指導方法、その後の見取りについて計画を立てる。

計画に従って、指導や研修を進め、その成果が各校の教育課程の改善や研究・実践に結びついていく状況を把握し、必要に応じて訪問指導を進める。児童・生徒の変容についても、長期的に見守る。

○議会等で教育施策の見直しや、各学校における授業改革の進捗状況等について、報告し、地域住民の理解と協力を求める。
埼葛地区教育委員会連合会、東部地区教育長協議会等で伝え合う。

1. 出会う

社会の変化についてグループで話し合い、「ゆっくりと変わる社会から激変社会へ、正解のあった時代から正解も変わる時代へと変わっている。」という認識をもつ。

2. 気付く

今までの教育ではやっていけないことに気づき、自分たちなりの教育改革案を構想し、共有しながら、教育改革に対する視点を共有する。

3. 問題意識をもつ

共有した視点を元に学習指導要領を読み、講師による解説を聞くことで、改訂の主旨や指導上の要点を理解し、自分の市町での改革への問題意識をもつ

教育行政の推進者として自覚をもち、世界の課題を視野に地域の課題解決も図れるよう、研鑽を深め、学校教育における、主体的・対話的な深い学びづくりやカリキュラム・マネジメントの実現に指導力を発揮しましょう。



各市町教育委員会は、国の第3次教育振興基本計画や学習指導要領を踏まえて、今後、素晴らしい教育施策をお示しになることと思います。

このことについては、議員さん方も勉強中です。

持続可能な社会づくりに向けたESDの視点から、現行の教育課程を見直しするとともに、これからの教育課程編成に向けた全ての教育職員の教育観と新しい時代の指導力を育てることや、各校における教育課程編成が十分な理解や納得・賛同の元に取り組みられますよう、期待しております。

また、成長し、変容する子どもたちの姿を通じ
保護者や、地域の理解・納得、そして協力を
得られるよう、各校が実践を重ねていかれます
ことを期待しています。

さて、最後に資料の紹介をいたします。

活用できる江東区立八名川小学校 HPデータの紹介



SDGsアワード特別賞受賞関連資料

・・・提出資料、関連資料

国連広報センターブログ

・・・八名川小学校訪問記

(八名川まつりの良さが自然に伝わってきます。)

「ユネスコスクール」・・・(8年分の校内研究全ての)

指導案・カレンダー等、
博報賞記念講演VTR、
世界発信資料、



ESD・SDGsを推進する 手島利夫の研究室

- ① 温かな校風と深い学びのある学校経営を目指す**校長先生**
- ② 教育改革への理念と具体的な方策を示す**指導者の方々**
- ③ 素敵な授業ができる教師を目指す**学生や若手教師の方々**
- ④ 教育改革を進める**教育委員会や政治家の方々**



手島利夫
江東区立八名川小学校
前校長(～2018,3,31)
政府ESD円卓会議委員
(2007～2018)
日本ESD学会副会長
(2017～)
NPO法人日本持続発展
教育推進フォーラム
理事(2018～)
共創型対話学習研究所
所員(2016～) 等

皆さんの教育実践を支援するためのホームページを作りました。

私、手島利夫は2005年から13年間、東京下町の校長として勤め、ユネスコスクールの一員として**持続可能な社会の担い手を育てて**(※1)まいりました。

※1、Education for Sustainable Developmentの頭文字をとってESDと呼びます。

当時はだれも知らない教育でした。ユネスコにも具体的な進め方はありませんでした。でも、差し迫った厳しい時代に向けてどのような教育を進めていけばよいのか考え、実践する中から、今日的な教育課題に気づき、校内外の方々と協力しながら、より良い学びづくり、より良い学校づくりに取り組み、優れた授業者を育ててまいりました。ジャパンスDGsアワード特別賞など、たくさんの賞もいただきました。これも、ESDが本質的な教育だから可能だったのです。

もちろん、素敵な子どもたちも育ち、地域の良さを生かした学びも生まれ、ESDに取り組む学校も、ユネスコスクールだけでも全国で1000校以上に広がりました。

また、2017年3月に公示された小学校学習指導要領ではESDが基本的な理念として前文に示され、総則等ではその実現に向けた手立ても全国に向けて示されました。(中学校でも同様)

しかし、これらのことは十分には報道されず、古い教育観の中でご苦労されている校長先生方もたくさんいらっしゃいます。また、ESDの理念や知識は承知していても、校内研究をどのように指導・助言したらよいのか、手立てにお困りの指導者層や研究者の方々もいらっしゃいます。また、学生さんや教員になったばかり先生方の中には、先輩方から「効率的で画一的な知識の伝達技術しか教えてもらえず、「これでいいのだろうか」と疑問を感じている方も多いと思います。このホームページはそのような方々のお役に立つために作成しました。



● 校長先生

● 指導者

● 学生・若手

● 教委・政治家

<https://www.esd-tejima.com/>で開けます

ESD, SDGsを推進する

手島利夫の研究室・ESD



ESD,SDGsを推進する 手島利夫の研究室書庫

温かな校風をつくる学校経営
具体的な教育改革の進め方、
素敵な授業ができる教師への道
教育改革に取り組む教委や政治家

ESDで世界を変えるための17の具体的目標



書庫内の写真・イラストをクリックすると書庫の棚が開きます。



① ジャパンSDGsアワード
2017年12月、八名川小学校はジャパンSDGsアワード特別賞を受賞しました。受賞のための秘蔵資料を公開します。次に受賞される皆様のために・・・



② 学習指導要領の理念を実現する「学校発・ESDの学び」
八名川小学校での実践を元に、持続可能な社会の創り手を育む学校教育のつくり方を紹介しましょう。学習指導要領をどのように読んだらいいのかもスッキリわかります。学校経営が楽しくなるかも・・・「持続可能な世界を目指した教育」に取り組んでいたらジャパンSDGsアワードの受賞というおまけまで付いてきちゃいました。いい教育なのです。



③ ESD in Japanese schools
Development and Popularization of an ESD Calendar that Energizes School Education in Japan and the World.



④ 議員さん、出番ですよ！
指導要領が変わっても学校の教育が変わらないのは、指導者たる教育委員会の力不足が原因です。教育委員会を変え得るのは、校長の代表、議員さん方の力です。教育委員会を動かす、とっておきの方法をお伝えしましょう。



⑤ 手島からの発信論文
東京都の教育委員に送りつけた手紙から、都政新報に論陣を張った一連の記事、教育新聞に15回の連載で書いた記事、政府の内閣会議委員としてのまじめな発信資料、YouTubeの画面までいろいろ結まっています。



⑥ 博報教育フォーラム講演
2014年2月22日、博報賞受賞者の代表としての講演記録を「21分38秒でわかるESDの進め方」と名付け、プレゼンデータと一緒に、DVDにしてユネスコスクール全国大会で500枚は配ったかな。



⑦ ESDについて質問です
教育出版社が「学校発・ESDの学び」に関連して、HP上にコラムページを作ってくれました。この際だから気楽なことを書いちゃおうと思っています。「ESDって取り組まないといけないんですか」から12回連続。



⑧ 報道された記事・等々
こちらから発信したのではなく取材に来て感じて書いてくれた記事、映像など、全部は載せきれませんでした。一面的なものもありますが、それなりのものも色々・・・。その他の資料も入ってます。

PROFILE

INFORMATION

④ 持続可能な社会の創り手を育てる教育への改革を進める 教育委員会や、議員の方々への手引きのページ

私は、国内各地の地方議員さん方とひざを交え、日本の教育改革の推進について話をしてまいりました。その中から、**地方議員さん方のご活躍こそが、日本の教育変革に重要な役割を果たす時がやって来た**と思っております。

というも次のような3つの現実があるためです。

- ①、ユネスコスクールというESDの推進拠点は1000校を超え、各地で実践の充実を図っている。
- ②、国の教育行政が、その役割をしっかりと果たし、2017年3月、学習指導要領の前文や総則にESDの理念を明記できた。

これで、世界や時代に通用する教育への改革のための基盤（法的整備と実践リーダーの育成）が形の上でできたわけです。

- ③、しかし現実的には、**このままでは、3年経とうが10年経とうが、教育が変わることはない**と、私は思っております。なぜなら、「持続可能な社会の創り手の育成」の文言が学習指導要領に入ろうが、入るまいが、自分には関係ないと思っている校長や教育委員会がほとんどだからです。（自分たちの市・都・県ではきちんとできているというところがあったら、お申し出ください。私が今まで拝見した中では、かなり熱心に取り組んでいる大牟田市や横浜市も含め、まだ改善すべき点があります。特にカリキュラム・マネジメントでは壊滅状態です。）

そこで、議員さんに向けて、「**議会で教育施策のどこをどのように質問したら良いのかそして、教育委員会からはどのようないい加減な回答が返ってくるのか、そのいい加減さを見破り、改訂された学習指導要領の理念が各学校で、きちんと実現できるようにするには、どこを見て、質問していけばいいのかをお伝えします。**

やや、過激な表現ですが、日本の将来を左右する、教育行政の正すべき現実です。

4-1

「議員さん出番です。日本の教育改革に向けて、ご尽力ください」

4-2

参考資料・学習指導要領の前文・総則（一部、下線、色付きです）

4-3

東京都の議会でも「議員さん、出番ですよ！」になるのでしょうか。

4-4

教育委員会の皆様「議会でのESD推進の質問の要点」をそつと教

えます。（教育新聞、2016年9月、アール「田中しんじろう氏に学ぶ」）



関係資料の紹介です。
図書館等でご覧ください。
書籍の中の全図版をカラーで
公開しました。校内研修等でご
活用いただけます

使用図版 (写真を除く) がカラーで公開されました

**ESD・SDGsの研究・研修・プレゼンに
本書と併せてご活用ください。**

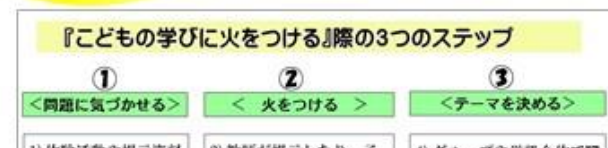
〇〇出版 → 一般書籍 → 総合的な学習、または、学校・学級経営 →



本書に掲載の図版類をご提供する連動サイトはこちら▶



SDGsは日常の教育の中でできる！



ESD, 特別支援教育など, 教育におけるさまざまな課題について多方面で活躍している方々にご執筆いただいたコラムを掲載しています。

授業にESDの視点を取り入れる際のさまざまな疑問に, ESD推進第一人者の手島利夫先生が答えます。



Column
手島先生,
ESDについて質問です!
学校発・ESDの学び

● 第1回 2018年6月29日掲載

「ESDって私の学校でも取り組まないといけないんですか？」
「持続可能な社会の創り手って、どうやったら育つのですか？」
「ESDに取り組んでいたらSDGsが始まったって、どういうこと」

〇〇地区委員会連合会・〇〇地区教育長協議会 合同研修会

「大きく変える！日本の教育」

ご自分の市・町出研修会をされるときにご活用できるように
本日のプレゼンやレジュメ等の資料の入ったCDを用意しました。
市・町毎に1枚ずつありますので、ご活用ください。



平成30年11月8日(木)

「ESD, SDGsを推進する手島利夫の研究室」室長
江東区立八名川小学校 前校長
日本持続発展教育推進フォーラム理事
日本ESD学会副会長 手島利夫